



## 第31回

# 札幌アイスホッケー連盟会長杯争奪

# アイスホッケー大会

兼 全道小学生アイスホッケー選手権大会札幌地区予選会

大会名： 第31回札幌アイスホッケー連盟会長杯争奪アイスホッケー大会

兼全道小学生アイスホッケー選手権大会札幌地区予選会

主催： 一般財団法人札幌アイスホッケー連盟

開催期間： 令和6年（2024年）11月4日(月)～11月24日(日)

会場： 札幌市月寒体育館

参加資格： 令和6年度に一般財団法人札幌アイスホッケー連盟に登録している小学生又は中学生の単独チームとする。

出場制限： 一般財団法人札幌アイスホッケー連盟に登録している選手、役員で、競技出場はGK 2

名を含め22名以内とする。なお、役員のベンチ入りは6名以内とする。

GKについては1名でも可とするが、その場合ベンチ入りできる選手数の上限は21名とし、GKが負傷しプレーヤーと交代する場合の猶予時間は認めない。

また、プレーヤーがGKを務める場合のスケートは、プレーヤースケートでも可とする。

競技方法： 小学生の部・中学生の部に分かれて各チーム総当たりによるリーグ戦を行い、勝ち点の合計により順位を決定する。

勝ち点が並んだ場合は、得失点差・得点数・反則数の少ない順番で優劣を決定する。

初心者または低学年選手を対象としたクロスアイスを11/4（月）に実施する。

競技規則： I I H F 国際競技規則に基づく。

- ① 試合時間は、各ピリオド正味15分
- ② 練習は試合前5分、インターバルは3分
- ③ 試合中に7点以上の点差がついた場合、次のフェースオフからロスタイム込みの促進ルールを取り入れる。点差が少なくなっても、促進ルールのままとする。
- ④ 第3ピリオド終了時点で同点の場合は、ただちに3 on 3方式の5分間のサドンデスの延長ピリオドを行う。延長ピリオドで得点がなかった場合には、IIHFスポーツ規定に基づくペナルティショット・シュートアウト(PSS)をただちに行う。なお、決しない場合は、1名ずつのサドンデスのPSSにより勝敗を決する。
- ⑤ 勝ち点は、45分での勝利に3点、45分での敗戦に0点、延長以降での勝利に2点、延長以降での敗戦に1点を与える。
- ⑥ タイムアウトはなしとする。
- ⑦ メンバー表の提出は原則試合ごと30分前迄に大会本部に提出の事
- ⑧ 仮ホームチームはタイムスケジュール表の左のチームとし、ホームチームはパックスにて決定する。

表彰： 小学生の部 ○優勝 優勝杯・賞状 ○準優勝 トロフィー・賞状  
○第3位 トロフィー・賞状

中学生の部 ○優勝 トロフィー・賞状

組合せ： 後日配布するタイムスケジュールを参照のこと。

その他： 各参加チームはオフィシャルを担当する試合毎に4名の競技役員を派遣し、競技責任者の指示に従い、任務にあたること。(オフィシャルを担当する試合はタイムスケジュール記載する)

個人情報： 個人情報及び肖像権に関しては、以下のとおり取り扱う。

①主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を順守し個人情報を扱う。なお、参加申込書等により取得した個人情報は、大会結果(記録)の発表、公式ホームページ、その他の競技運営及びアイスホッケー競技に必要な連絡等に利用する。

②大会の写真・競技結果(記録)等は、主催者が公式ホームページに掲載することがある。

③大会への参加申込書の提出により、上記取扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

注意事項： 出場チーム用のゴミ箱は設置していませんので、ゴミは各チームで必ず持ち帰ること。